



2017 June

No.538

地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 135年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人權と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います

第13回南九州3県県境地域医療連携懇話会、第45回地域協議会開催



地域協議会



委嘱状交付



院長挨拶



新任医師挨拶



情報交換会



公立多良木病院企業団
大島企業長 締めの挨拶

平成 29 年 6 月 7 日（水）18：30 からあゆの里にて第 45 回地域協議会、19：00 から第 13 回南九州 3 県県境地域医療連携懇話会を開催しました。

人吉球磨の県南のみならず、県境の伊佐市、えびの市の近隣地域の医療・行政関係機関の多くの方々にご参加いただきました。

地域協議会は、地域の医療についての協議や地域の実情に合わせた運営を行うため、地域有識者の意見を広く聞き、協議していく場となっています。新たに選任された 24 名の協議員で構成され、当院長から委嘱状の交付があり、議長には人吉市医師会長の岐部明廣先生が就任され、会では「研修医の地域医療機関での研修も行ってほしい」などの意見がでました。

19 時から、第 13 回南九州 3 県県境地域医療連携懇話会を開催し、院内外含め約 130 名の方々にご参加いただきました。

4 月から当院に着任した倉本統括外科部長兼院長補佐より「地方でもできること～先端癌手術 どこまでできるか

～」について症例を提示しながら低侵襲の鏡視下手術など最近の消化器がん外科手術の説明や、米永画像診断センター長より 4 月から新しく導入した 256 列 CT の説明を行いました。

また、人吉市医師会岐部明廣会長にご挨拶をいただき、球磨郡医師会山村正統会長の乾杯で情報交換会が開会しました。会の後半では当院の新任医師の紹介・挨拶を行い、田浦総合診療部長より総合診療医育成について当地域の現状やそのプログラムについて発表を行い、最後に球磨郡公立多良木病院企業団の大島茂樹企業長から締めの挨拶をいただき、盛会の内に終了しました。日頃なかなか直接お話しする機会のない先生や行政の方などともコミュニケーションがとれ、顔の見える連携を図ることができたと思います。

大変ご多用の中、ご参加いただきました皆様、ご挨拶頂きました先生方へ心より感謝申し上げます。今後ともご指導・鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

人吉医療センター 医療福祉連携室 金栗 由佳

がん治療医科歯科連携を行っています

がん治療には様々な合併症が発症することがありますが、その一つとして、口腔内合併症があります。特に浸襲の大きい手術では、局所合併症や肺炎が高い頻度で起こる事が報告されています。これらの合併症に対し、口腔内の衛生状態や健康度を保つことが治療の経過や予後に大きく関与することがさまざまな研究から明らかになっています。がん治療を支える医療としても、歯科治療や口腔ケアが位置づけられるようになっており、2014年度から当院でも医科歯科連携を開始しています。

連携の内容は、連携1「手術患者を対象とした口腔ケア」、連携2「がん化学療法と頭頸部放射線治療における治療・口腔ケア」、連携3「がん緩和医療における口腔ケア」とな

っており、「お口のチェック表」による評価を当院の外来、入院で適宜行い、必要に応じてかかりつけ歯科医、もしくは連携歯科医へ紹介を行い歯科治療、口腔ケアを開始します。

今のところ対象患者さんは多くはありませんが、がんの告知を受け、少なからず精神的に動揺されている患者さんに「がん治療を開始するのに何故歯科治療が必要なのか」をわかり易くお伝えし、合併症を予防し、少しでも苦痛の少ないがん治療が提供できるように取り組んでいます。

がん相談支援センター 南 秀明

プライマリケア Web カンファ 症例発表を行いました

当院では、札幌医科大学 地域医療総合医学講座主催の『プライマリ・ケア レクチャーシリーズ』（Web による、プライマリ・ケア ケースカンファレンス&レクチャー）に参加しています。



6月21日 Web カンファレンスにて症例発表を行い、内容は全国60箇所以上の病院で生中継されました。

テーマは「7歳男児のた打ち回るほど激しい腹痛」。近医小児科から虫垂炎の疑いで当院救急外来に紹介された患者が、急性腹痛と判断され小児外科のある熊本市内の高次医療機関へ転院搬送となりました。転院先の病院にて回腸末端炎・便秘で入院となりましたが、超音波検査を複数回行った結果「アレルギー性紫斑病（IgA 血管炎）」と最終診断が下されました。ステロイド治療により症状改善し退院され、現在は後遺症無く経過しています。

アレルギー性紫斑病は、「紫斑・関節痛・腹痛」が3大症状で5～7歳の小児に好発する疾患です。皮膚症状がほぼ前例にみられますが、本症例は「紫斑なし・関節痛なし・腹痛あり」という珍な症例であり、診断に難渋しました。腹部超音波検査で、十二指腸球部～水平脚の腸管壁肥厚・内腔拡張がみられることが特徴的です。医学的知識と超音波検査テクニックを併せ持って初めて診断につながるという教訓的な症例でした。若干の文献的考察を交えて報告しました。

カンファレンスでは全国各施設から多数のコメント・質問が寄せられ、活発なディスカッションが繰り広げられました。

症例発表を指導して下さった総合診療科田浦尚宏先生に感謝申し上げます。

念願の全国デビューを果たしましたので、次は「ドクターG」か「アタック25」に出たいと思います。

当院 臨床研修医2年 平賀 円

70歳以上の皆様へ 高額療養費の 上限額変更のお知らせ

全ての方が安心して医療を受けられる社会を維持するため、高齢者と若者の間での公平が図れるよう、負担能力に応じた負担をいただくため、平成29年8月から、70歳以上の方について、高額療養費の月ごとの上限額が変わります。（下表）

詳しくは各保険者に問合せ下さい。

平成29年1月まで			平成29年8月から		
適用区分	外来 (個人ごと)	外来+入院 (世帯ごと)	外来 (個人ごと)	外来+入院 (世帯ごと)	
現役並み 課税所得 145万円 以上の方	44,400円	80,100円+ (医療費- 267,000円)×1% (多数該当 44,400円)	57,600円	80,100円+ (医療費- 267,000円)×1% (多数該当 44,400円)	
一般 課税所得 145万円 未満の方※	12,000円	44,400円	14,000円 (年間上限 144,000円)	57,600円 (多数該当 44,400円)	
住民税非課税	Ⅱ	24,600円		24,600円	
	Ⅰ (年金収入 80万円 以下など)	8,000円 15,000円	8,000円	15,000円	

※世帯収入の合計額が520万円未満（1人世帯の場合は383万円未満）の場合や「旧ただし書所得」の合計額が210万円以下の場合も含む。

厚生労働省ホームページ参照

(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iryohoken/juuyou/kougakuiryou/index.html)

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師とは

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師は、脳卒中によって障害を抱えた患者さんに、生活再構築のためのケアを行い、その人らしい自立を支援することが役割です。

脳卒中は発症早期からの看護が重要です。脳の損傷部位や症状から障がいの程度を評価し、重篤化を回避し、急性期合併症を予防、そして、なるべく早く起き上がる、歩くなど身体を動かして、患者さんの活動性向上のための看護を行っています。また、退院前には、くまモン脳卒中ノートを用いて再発予防指導を行っています。

脳卒中は麻痺（まひ）や失語、嚥下（えんげ）障害、高次脳機能障害など、さまざまな障害を引き起こしたりします。あ

る日突然手足が動かなくなったり、話すこと、食べることができなくなったりします。この苦痛は計り知れず、ご家族も大きな衝撃を受けます。

まだまだ十分な活動はできておりませんが、このような辛い思いをされている患者さんやご家族と、少しでも「その人らしい自立」のあり方を一緒に考え、前に進んでいきたいと思っています。



脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
今田 泉



JCHO人吉医療センター病院見学会のご案内

JCHO人吉医療センターでは、看護師、助産師向けの病院見学会を開催しております。

現在、12分野の認定看護師16名が在籍し、専門分野の看護実践、教育、指導を実施しております。専門・認定看護師や大学院進学など働きながら学ぶことは容易ではありませんが、JCHO人吉医療センターでは意欲ある職員をバックアップする環境が整えられています。

自然豊かな環境で進取の精神に富んだ人吉医療センターで私たちと一緒に働きませんか？
ご希望の日時に見学会を随時に開催いたしますので、お気軽にご連絡ください。

場 所：人吉医療センター

内 容：当院の概要・特徴・教育体制の説明 病院内見学 職員との座談会

対 象：看護師、助産師または取得見込みの方など

【お問い合わせ】TEL 0966-22-2191（代）看護部：溝口



連携施設探訪 「グループホーム えがお」 介護老人保健施設 Vol.6

当院は、みなさんが住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう、人吉・球磨地域の医療・福祉機関と連携して 地域 包括ケアを推進していきたいと考えています。

そこで、地域の社会資源を周知していただくため、連携施設をご紹介します。

今回は「グループホーム えがお」さんです。

【対象者】

- ・主治医により認知症と診断された方
- ・要支援2または、要介護1以上の方で共同生活を送ることができる方

【施設の特徴】

一期一会の精神を理解しその一瞬を大切にします。
生きがいをもって、笑顔のある暮らしを提供します。
その人らしい生活を最期まで支えます（看取り）

【サービス内容】

- 認知症対応型共同生活介護
- 認知症の方の生活支援
- 季節に合わせたレクリエーション行事（月1回）
- 生活リハビリ（スタッフと一緒に料理や洗濯掃除また趣味等）
- 地域サロン・老人会掃除等に参加（地域交流）

【地域の皆様に一言】

認知症になって、不安で苦しんでおられる利用者のご家族を笑顔にしてあげたいと思い「えがお」と名がつけました。

地域住民や家族会と一緒に夏祭りやコンサートを行っていますので是非遊びにおいで下さい。私達はこの町から選ばれた施設として地域全体をケアします。

【お問い合わせ先】

グループホーム えがお
連絡先 〒868-0415
熊本県球磨郡あさぎり町免田西 2195 番地 1
TEL (0966-45-1500) FAX (0966-45-1480)
施設長 小場佐 美穂

【訪問スタッフの感想】

施設内のとても広いウッドデッキが印象的で、天気がいい日は、たくさんの入居者の方が日光浴をしたり、各種催し物が開催されるなど、とてもいい設備だと思いました。また、看取りについても積極的に取り組まれており、入居者の方が住み慣れたところで、安心して生活できる環境・体制をとっておられ、とても素晴らしいと感じました。



救急救命士就業前病院実習を終えて

救急救命士就業前病院実習ということで平成 29 年 5 月 8 日～6 月 2 日までの 20 日間、各科の医師、看護師をはじめ医療センターのスタッフの方々には業務多忙中、実技指導を含め数多くの事を熱心にご指導頂き心より感謝申し上げます。

病院実習に臨むにあたり、救急現場に必要な観察手技の習得や身体観察の正確性、静脈路確保をはじめとした特定行為の技術向上、疾患・病態の理解を深めるという目的を持って実習に取り組みました。この目的のもとに日々の PDCA サイクルによりさらに具体的な目標をたて実習に入ることによって実習のビジョンがより明確になり、反省点や改善策を見出し現場にどのように活かせるかを考えることができるようになりました。

その中で、医療人として高い志を持った方々と接する

ことで、救急医療に対する自分の知識不足と意識の低さを痛感し、病院前救護を担う者として救急疾患の知識習得は当然の事ながら、フィジカルアセスメントの精度を向上させなければならないと強く感じました。

病院実習を通して救急現場ではなかなか経験できない症例を数多く経験し、これまで知らなかった観察手技も身につけることができました。また、病院内で行われる検査や診察を知ることで救急隊に求められている情報は何か、医師は救急隊に傷病者のどういう情報が欲しいのかといった事を考えることができるようになり、有意義で実りの多い実習とすることができました。

これから理想とする救急救命士に一步でも近づくことができるよう、今の自分に満足することなく自己研鑽に努め職務を遂行して参ります。

人吉下球磨消防組合 消防副士長 前村 尚幸

「岩手ホスピスの会」よりタオル帽子を寄付していただきました。

岩手ホスピスの会（川守田裕司様代表）は、抗がん剤治療などで脱毛に悩む患者さんの為にタオル帽子（※）を制作し、全国の医療機関を通じて患者の皆様へ寄附する活動をされています。

今回当院にもご案内頂き、100 個のタオル帽子を寄付して頂きました。

当院では化学療法室、放射線治療室、病棟等で必要な患者の皆様にお渡しできるようにしております。ご希望の方がおられましたら、相談支援センターへご連絡ください。

また、タオル帽子制作の為にタオル（未使用）寄付も募られています。ご家庭で眠っている未使用タオルがございましたら取りまとめて寄付させていただきますので、ご連絡ください。

※タオル帽子とは…化学療法や放射線治療等の副作用により脱毛された方が頭の保護や防寒、毛髪の散らばりを予防する為に使用するもの。



がん相談支援センター 杉松 紗織



画像：岩手ホスピスの会 HP より

COOLBIZ

当院では5月1日(月)～10月31日(火)、一層の省エネルギー推進のため、執務中の服装について暑さをしのぎやすい軽装（ノーネクタイ・半袖シャツ・ポロシャツ等）を励行しております。

クールビズ活動へのご理解とご協力をお願い致します。



キャンプでリフレッシュ！

今回キャンプ同好会は、5月の終わりに、5組のファミリーで、湯前グリーンパレスキャンプ場へ行ってきました。5月の心地良い季節、緑豊かな大自然の中で、子供たちはテレビやゲームから離れ、広大な敷地をおもちゃ存分走り回り、大人は仕事の事は忘れ、ゆっくりとした時間の中で大自然を満喫しました。

お楽しみの夕食は、アヒージョ・たこ焼き・鳥とアボカドのチーズ焼き、そして、メインは鳥の丸焼き！キャンプならではの、炭でじっくり焼き、こんがり焼きあがった鳥の丸焼きは、今までに味わったことのない程格別美味しくかったです。

今回のキャンプも、外遊びを通じてリフレッシュでき、次への活力への動機づけになる時間となりました。

キャンプ同好会は、単身でも家族でも参加は大歓迎です。一緒にキャンプをしませんか？

メンバー同参加を心よりお待ちしております。

キャンプ同好会 外科外来 松田 ゆき



実習生感想

5月8日より3週間お世話になりました。

出身は静岡県で、天竜川上流の山間地の生まれです。ところで天竜川といえば、暴れ天竜と称された急流と鮎釣り、天竜川下りや本田宗一郎の生地として有名なところで、人吉藩主であった相良氏が静岡（遠江）の出身であったことも相まって、球磨川や人吉とも共通点があるように思います。これまで何度となく訪れたことがあり、土地柄に魅力を感じていたため今回、実習先として選択させて頂きました。

3週間の間に、総合診療科を中心に小児科、整形外科、産婦人科、外科、糖尿病代謝内科にてそれぞれ一日ずつ勉強させて頂く機会がありました。どの科に行っても、先生方から非常に丁寧に実際の診療や手技について教わることができました。また週に1、2日、五木村診療所と訪問看護・診療へと同行させて頂く機会があり、それ

らの診療と人吉医療センターとの連携、山間部の地域医療を学ぶとても良い機会となりました。五木村や訪問先の患者さん、ご家族がよく笑われていたのも印象的です。今回の実習で患者さんと先生方、スタッフの方々と多く会話をし、様々なお話を聞く機会を頂けたことはこれまでの大学病院での実習からは得難い貴重なものでした。

温泉巡り、食事、相良のホタル鑑賞など実習時間外の散策を含めて、とても有用な3週間となりました。実習生の受け入れからプログラムの調整、学生の指導など、多くの方々に手間を頂いており、また温かく接して頂いたことに深く感謝申し上げます。



熊本大学医学部医学科 6年
山村 彰吾

平成 29 年度 患者会、がんサロンなどの活動計画お知らせ

★がんサロン計画

日時：第4水曜日、13：30～（1時間程度） 場所：もちの樹（患者さん図書室）

	日時	内容	講師・その他
平成 29 年	7月26日	病気とお金	社会福祉士
	8月23日	鮎田先生に聞いてみよう！	鮎田先生
	9月27日	足は第二の心臓です。～フットケアセルフマッサージ～	看護師
	10月25日	今日からはじめる口腔ケア	歯科衛生士
	11月22日	サプリメントの上手な使い方	薬剤師
	12月27日	緩和ケアの実践	緩和ケア認定看護師
平成 30 年	1月24日	聞こう・話そう 私の体験	茶話会
	2月28日	インフルエンザに負けないぞ！	保健師
	3月28日	外見ケアを通して“あなたらしさを支えます”	看護師

★清流ハートクラブ（心臓リハビリテーション患者会）活動計画

日時：第4木曜日、14：00～15：00 場所：3F 講堂

	開催日	内容	担当
平成 29 年	7月27日	心臓病について	医師
	8月24日	日常生活の留意点について	看護師
	9月28日	塩分について	管理栄養士
	10月26日	糖と脂質	医師
	11月30日	薬の効果・必要性	薬剤師
	12月28日	座談会（減塩弁当食事会）※12：30～	役員、心リハスタッフ
平成 30 年	1月25日	ダレデモダンス	理学療法士
	2月22日	心疾患の検査	臨床検査技師
	3月22日	福祉制度	社会福祉士

★ひまわり会（乳がん患者会）活動計画

日時：第4金曜日、14：00～（1時間程度） 場所：3F 第一研修室

	日時	内容	講師・その他
平成 29 年	8月25日	実技「口腔ケア」	歯科衛生士
	10月27日	実技「アロマハンドマッサージ」	参加料あり
	12月22日	実技「骨を強くするための運動」	理学療法士
平成 30 年	2月23日	実食「骨を強くするための食事」※11：30～	管理栄養士・参加料あり

★その他：レクリエーション 第1木曜日：アロマテラピー 14：00～

第2、3木曜日：カラーペインティング 10：00～

※問い合わせ先：医療福祉連携室〔0966-22-2191（内線240）〕まで

雑誌紹介

Gノート（隔月刊）
発行：羊土社



あらゆる疾患・患者さんをまるごと診たい！
そんな医師のための「総合診療」の実践雑誌です
6月より研修医室へ配架致します。

また、WEB閲覧も可能となっております。
閲覧方法は職員図書室、医局、レジデントルームにてお知らせしております。
ご不明な点は図書担当へお尋ねください。

身体障害者用駐車スペースへの駐車利用について

当院では正面玄関の周囲に身体障害者用駐車スペースを設けております。利用の際には、県内共通のハートフルパス（障がい者等用駐車場利用証）を掲示して下さい。

熊本県ハートフルパス制度とは…

障がい者等用駐車場を適正にご利用いただくため、障がいのある方や高齢の方、妊産婦の方など歩行が困難と認められる方に対して、県内共通の利用証（ハートフルパス）を交付することで、本当に必要な人のための駐車スペースの確保を図る制度です

窓口：詳しくは熊本県のホームページをご参照下さい。

http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_3166.html



～指定難病拡大のお知らせ～

「難病」は、長期間の療養をしいられ、患者さんにとっては大きな負担となります。患者さんの負担を少しでも軽減するために、これまで56の疾患に関し治療法の研究を進めるため国が治療費を助成する「特定疾患治療研究事業」制度がありました。しかし、長期療養が必要で患者負担が大きい疾患は、ほかにも多数あり、より充実した難病対策を行うため、平成27年1月に「難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）」が施行されました。この法律施行後、難病患者に対する医療費助成制度は大きく変わりました。

助成する難病「指定難病」の種類は、これまでの56から平成27年1月から110と大幅に増え、平成27年7月からはさらに増えて306、平成29年4月より、新たに24疾患追加となり、330疾患となりました。新たに対象となった病気の患者さんは、都道府県の難病対策窓口（保健所など）に申請の手続きなどについて問い合わせемいましょう。

詳しくは <http://www.nanbyou.or.jp/>（難病情報センター）ホームページをご覧ください。

医療福祉連携室

星に願いを

7月7日は七夕です。年に1回のお祭り行事で願い事を書いた短冊と飾りを笹の葉につるし、星にお祈りする日です。

今年も本館2階の総合案内前に七夕の笹飾りを設置しました。「長生きできますように」「家族が幸せになりますように」「ピンピンコロリ」など続々と願い事をかけて頂いております。皆さんも待合の時間など願い事を書いてみませんか？記入用の短冊を置いておりますので、ご自由にご利用下さい。皆様の願いが叶いますように…



新 任 紹 介



池田 春奈（薬剤部・医療クラーク）

最終卒業校：神村学園高等部

趣味：雑貨のハンドメイド

好きな言葉：十人十色

自分の性格：マイペース

自分のコマーシャル：以前働かせて頂いた時とはまた違う業務になるので不安もありますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

6月の勉強会報告

6月8日(木)第87回乳腺カンファレンス

「維持療法で長期間コントロールできた再発乳癌の一例」

当院 矢立 雅章 がん化学療法看護認定看護師

「両側卵巣移転切除後経過良好な乳癌の一例」

当院 外科 西村 卓祐先生

6月16日(金)人吉市球磨郡消化器病講演会

「炎症性腸疾患のトータルマネジメントを目指して」

ー高野病院のチーム医療を含めてー

社会医療法人社団高野会 大腸肛門病センター高野病院

理事・副院長 野崎 良一先生